

国際スケート連盟

コミュニケーション No. 1932

アイス・ダンス

技術規程のための要件- 2015/16 シーズン

技術規程ではアイス・ダンス技術委員会が定める要件によって補われるべき規定がいくつか指定されている。

- 1 シーズンのみ有効と技術規程で定められている要件
 - 国際競技会のパターン・ダンス課題
 - 国際競技会のパターン・ダンスの音楽の要件
 - ショート・ダンスのリズムまたはテーマ、必須要素およびガイドライン
(必須要素にはパターン・ダンス要素のキー・ポイントおよびキー・ポイントの特徴を含む)
 - フリー・ダンスの必須要素

2015/16 シーズンの要件は本コミュニケーションに含まれる。

- 継続的に有効と技術規程で定められている要件
 - コールの仕様および難度レベル(LOD)
 - 採点基準
 - 価値尺度表(SOV)

これらは必要に応じて更新される。現在継続的に有効な要件に対する変更(2015年7月1日付けで有効となるもの)は今後のコミュニケーションにて発表される。

1. 国際ノービス競技会のパターン・ダンス課題

(コミュニケーション第 1886 号で発表された通り)

1.1. ベーシック・ノービス

2つのパターン・ダンスを滑ること

グループ1: #1 フォーティーンステップと#4 ヨーロピアン・ワルツ

1.2. アドバンスト・ノービス

2つのパターン・ダンスからなる 1 グループが、本シーズンのために発表されている以下の 2 つのグループの中から、大会の最初の練習より前に抽選で選ばれる。

グループ2: #3 ロッカー・フォックストロットと#9 スターライト・ワルツ

グループ3: #12 キリアンと#23 ブルース

2. 国際競技会のパターン・ダンスの音楽の要件

規程第 707 条第 5 項において次のように定められている:国際競技会のパターン・ダンス競技には現行の ISU 公式アイス・ダンス音楽を使用するものとする、ただしアイス・ダンス技術委員会が 1 つまたは複数のパターン・ダンスの音楽については以下の要件を満たす音楽をカップルが提出すると決定した場合を除く。

2015/16 シーズンにおいては、カップルは以下のパターン・ダンスの音楽を各自で用意するものとする。

- 国際ノービス競技会
 - ベーシック・ノービス: #4 ヨーロピアン・ワルツ
 - アドバンスト・ノービス: #9 スターライト・ワルツと#23 ブルース

- 他の国際競技会および国際アダルト競技会：大会の要項での組織委員会の発表に従う。

音楽はそのパターン・ダンスのリズムに沿ったものを選ばなければならず、ボーカル入りでもかまわない。必要なシーケンス中のテンポは一定でなければならず、またそのパターン・ダンスに要求されたテンポ(ISU アイス・ダンス・ハンドブック 2003 を参照のこと)±2拍/分に従わなければならない。

注：

- ISU 公式アイス・ダンス音楽から1曲を選ぶのもよい。この場合、選んでよい曲は1番から5番の曲のみであり、カップルは規程第343条第1項に従って競技会用の音楽を用意するものとする。
- 上記の音楽要件やテンポ指定の違反は、規程353条第1項n)に従って罰せられる。
- カップルが用意した音楽に対して規程708条第1項d)を適用する際は、そのダンスの最初のステップが1小節内の第1拍で開始しなければならないと定める(ただしダンスの説明において別途指定されている場合を除く)。

3. 2015/16 シーズンのショート・ダンスの要件

3.1 リズム

規程第709条第1項a)ではリズムおよび/またはテーマはアイス・ダンス技術委員会によってシーズンごとに毎年選ばれると定めている。2015/16 シーズンは以下のリズムが選ばれた。

ジュニアおよびシニア：ワルツ、追加でフォックストロット、マーチ、ポルカからいくつか

シニア

パターン・ダンス要素はワルツのリズムで、いずれかのワルツのスタイルで滑走すること。パターン・ダンス要素の音楽のテンポは最初から最後まで一定でなければならず、またパターン・ダンスのラベンスバーガー・ワルツのテンポ要件に従わなければならない。すなわち毎分3拍子66小節(毎分198拍)±3拍であること。

パーシャル・ステップ・シーケンスは本シーズンに選ばれた他のリズムで、そのリズムのスタイルで滑走すること。パーシャル・ステップ・シーケンスの音楽のテンポは指定しないが、最初から最後まで一定でなければならない。

ジュニア

パターン・ダンス要素はワルツのリズムで、いずれかのワルツのスタイルで滑走すること。パターン・ダンス要素の音楽のテンポは最初から最後まで一定でなければならず、またパターン・ダンスのスターライト・ワルツのテンポ要件に従わなければならない。すなわち毎分3拍子58小節(毎分174拍)±3拍であること。

ワルツ、フォックストロット、マーチおよびポルカのリズムについては『ISU Ice Dance Music Rhythms Booklet 1995』で説明されている。

3.2 変更点

規程第709条第1項d)およびh)はアイス・ダンス技術委員会によって毎年変更されうるとしている。2015/16 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下の特別な変更を採用した。

第1項d): “パターンは常に一定方向に進行しなければならず、また氷上のロング・アクシスを横切ってよいのはリンクの各エンド(フェンスから20メートルを超えない範囲)で1回のみである。ループはロング・アク

シスを横切らない限り、回転方向によらず許される。しかしながら、以下の行為は本規定の違反とはしない。

- パターン・ダンス要素のラベンスバーガー・ワルツ(シニアのショート・ダンス)のステップ 10 番から 15 番までを行う間にロング・アクシスを横切ること
- 非接触ステップ・シーケンスを行う間にロング・アクシスを横切ること(ジュニアのショート・ダンス)
- 時計回りの非接触サーキュラー・ステップ・シーケンスを行う間にロング・アクシスを横切ること(ジュニアのショート・ダンス”

第 1 項 h): “最初の動きによって計時が開始した後は、カップルは10秒間を超えて一箇所に留まってはならない。プログラムの間、

- シニア:1回限りの完全なストップ(最長10秒まで)が含まなければならない、このストップはパーシャル・ステップ・シーケンスの開始を示す(ストップの直後から開始する)。
- ジュニア:2回までの完全なストップ(各最長5秒間まで)または1回の完全なストップ(最長10秒間まで)のいずれかが許される。”

3.3 必須要素

規程第 709 条第 2 項ではショート・ダンスの構成に含まれるべき必須要素のリストおよびその要素の要件は本規定で与えられた要素の中から毎年発表されると定めている。2015/16 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会はショート・ダンスの構成に含まれるべき必須要素を以下の通り採用した。

• パターン・ダンス要素

以下の 2 セクション

シニア	ジュニア
ラベンスバーガー・ワルツ	スターライト・ワルツ
<ul style="list-style-type: none"> ▪ セクション 1: ステップ 1 番~19 番 ▪ セクション 2: ステップ 20 番~41 番 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ セクション 1: ステップ 1 番~17 番 ▪ セクション 2: ステップ 18 番~32 番

セクション 1 に続けてセクション 2 を滑走すること。ステップ 1 がジャッジの左側になるように滑走すること。

特記事項:

- パターン・ダンスの記載、表、ダイアグラムは“ISU Handbook Ice Dance 2003”に掲載されている。
- 規程第 708 条第 1 項は以下のように読み替えるものとする:
 - b) 場所: 追加→“しかしながら、パターン・ダンス要素のラベンスバーガー・ワルツのステップ 10 番から 15 番でロング・アクシスを横切ことは許される”
 - d) タイミング: 始めの文は、“パターン・ダンス要素は、パターン・ダンス要素セクション 1 またはパーシャル・ステップ・シーケンスの最初のステップが 4 拍子の小節の 1 拍目で開始されるよう、音楽に厳密に合わせて滑走しなくてはならない。”と読み替える。

• ダンス・リフト: 最大 1 つのショート・リフト

- ステップ・シーケンス

シニア:1つのホールドを組んでのパーシャル・ステップ・シーケンス

- パターン:必須のストップの直後から始まり(ただし、パーシャル・ステップ・シーケンスはプログラムの最初から開始してはならない)、氷面を完全に1周し、同じ場所で終わる
- 時間:4小節からなる音楽のフレーズを任意の回数繰り返した時間
- ホールド:規程第703条第3項の最初の項目に関わらず、腕を完全に伸ばしたハンド・イン・ハンド・ホールドを確立してはならず、かつホールド・チェンジやツイズルの最中も含めてパートナー同士は常に接触していなければならない。

ジュニア:1つの非接触ミッドライン・ステップ・シーケンスまたは非接触ダイアゴナル・ステップ・シーケンスまたは非接触サーキュラー・ステップ・シーケンス

- 1つのセット・オブ・シーケンシャル・ツイズル

パターン・ダンス要素のキー・ポイントおよびキー・ポイントの特徴—シーズン 2015/16

スターライト・ワルツ

1SW	キー・ポイント1 女性のステップ 9 -10 (RBOI, LBO-SwR)	キー・ポイント2 男性のステップ 9-10 (LFOI, RFO-SwR)	キー・ポイント3 女性のステップ 16-17 (LFO CIMo, RBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なチェンジアッジ (#9)	1. 正確なエッジ 2. 正確なチェンジアッジ (#9)	1. 正確なエッジ 2. CIMo - 正確なターン 3. CIMo - フリー・フットの正確な配置
2SW	キー・ポイント1 女性のステップ 21-22 (LFI, OpMo, RBI)	キー・ポイント2 男性のステップ 27-28 (CR-RFO, CR-LFO3)	キー・ポイント3 女性と男性のステップ 31 (CR-RFO-SwR)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリー・フットの正確な配置	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ 2. フリー・フットの正確な配置

ラベンスバーガー・ワルツ

1RW	キー・ポイント1 男性のステップ 1-3 (RFI3-Sw, RFI3-Sw)	キー・ポイント2 女性のステップ 14-15 (LFI OpMo, RBI)	キー・ポイント3 男性のステップ 14-15 (LFI OpMo, RBI)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリー・レッグの正確なスイング動作	1. 正確なエッジ 2. OpMo - 正確なターン 3. フリー・フットの正確な配置	1. 正確なエッジ 2. OpMo - 正確なターン 3. フリー・フットの正確な配置
2RW	キー・ポイント1 女性のステップ 28 (LFI3) 男性のステップ 30 (LFO3)	キー・ポイント2 男性のステップ 36a-36b (LFO, RFO)	キー・ポイント3 女性のステップ 36 (LFO-SwRk) 男性のステップ 37-38 (RFI ClCho, LBO)
キー・ポイントの特徴	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン	1. 正確なエッジ	1. 正確なエッジ 2. 正確なターン 3. フリー・レッグの正確なスイング動作 (#36 - SwRk) 4. フリー・フットの正確な配置 (#37-38 - ClCho)

注:ステップの最後の拍でのチェンジアッジは次のステップへのプッシュ/移行の準備動作であれば許される(キー・ポイントでの例:1SW のキー・ポイント1 のステップ9、2SW のキー・ポイント3 のステップ 31、1RW のキー・ポイント1 のステップ 1と3、2RW のキー・ポイント2 のステップ 36aと36b)。

注:ステップおよびステップの追加の説明は規程第 704 条および“ISU Handbook Ice Dance 2003”の I-9(スターライト・ワルツ)と I-10(ラベンスバーガー・ワルツ)で定義/掲載されている。パターン・ダンスの教育DVD (注文番号 ID4)は ISU 事務局から入手できる。

4. フリー・ダンスの必須要素ーシーズン 2015/16

規程第 710 条第 2 項ではウェルバランス・フリーダンス・プログラムに含まれるべき必須要素とその要件は本条項で定められた項目の中から毎年発表されるものと定めている。アイス・ダンス技術委員会はシーズン 2015/16 のウェルバランス・フリーダンス・プログラムの必須要素を下記の通り定めた。

4.1 ベーシック・ノービス

ダンス・リフト:最大1つのショート・リフト

ストレートライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(ミッドラインまたはダイアゴナル)

または、

カーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(サーキュラーまたはサーペンタイン)
から1つ

セット・オブ・シンフロナイズド・ツイズルを1つ

ダンス・スピンはベーシック・ノービスのフリー・ダンスの必須要素には含まれない。ただし、カップルが同じ軸のまわりを片足で(もしくは両足で)滑走するような回転動作を行うことは、ホールドと回転数の制限なく許される。カップルはこのような動作を振り付けの一部として用いてよい。テクニカル・パネルはこのような動作は無視し、ジャッジはこのような動作を許されたストップの数には入れないものとする。

レベルの説明:ベーシック・ノービスのフリー・ダンスでは、全ての必須要素はレベル2までの特徴だけが数えられる。それ以上の特徴はレベルの要件としては数えられず、テクニカル・パネルは無視するものとする。

4.2 アドバンスト・ノービス

ダンス・リフト:最大2つの異なる種類のショート・リフト

スピン:1つまで(注:コンビネーション・スピンは許されない)

ストレートライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(ミッドラインまたはダイアゴナル)

または、

カーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド(サーキュラーまたはサーペンタイン)
から一つ

セット・オブ・シンフロナイズド・ツイズルを1つ

レベルの説明:ベーシック・ノービスのフリー・ダンスでは、全ての必須要素はレベル3までの特徴だけが数えられる。それ以上の特徴はレベルの要件としては数えられず、テクニカル・パネルは無視するものとする。

4.3 ジュニアおよびシニア

ダンス・リフト

シニア

- 最大1つのショート・リフトおよび最大1つのコンビネーション・リフト
(ショート・リフトの種類はコンビネーション・リフトで行うショート・リフトの種類と異なること)
- または
- 最大3つの異なる種類のショート・リフト

ジュニア

- 最大1つのコンビネーション・リフト
- または

- 最大2つの異なる種類のショート・リフト

最大1つのダンス・スピン(スピンまたはコンビネーション・スピン)

2つのホールドを組んでのステップ・シーケンス

- ストレート・ライン・ステップ・シーケンス・イン・ホールド
(ミッドラインまたはダイアゴナル)
- 1つのカーブド・ステップ・シーケンス・イン・ホールド
(サーキュラーまたはサーペンタイン)

1つのセット・オブ・シンクロナイズド・ツイズル

最大1つのコレオグラフィック・エレメント

規程 704 条第19項はアイス・ダンス技術委員会がコレオグラフィック・エレメントの要件を指定すると定めている。2015/16 シーズンは、アイス・ダンス技術委員会は以下の要件を採用する。

コレオグラフィック・エレメントは以下のどちらかでなければならない。

- コレオグラフィック・ダンス・リフト:10秒までのダンス・リフトで、必須のダンス・リフトを全て行った後に行われるもの
- コレオグラフィック・スピニング・ムーブメント:必須のダンス・スピンを行った後に行われる回転動作で両パートナーが少なくとも続けて2回転するもの、ただし
 - ホールドは問わない
 - 片足、両足、またはパートナーの一方が持ち上げられるが一定の高さに留まらないもの、もしくはこれら3つを組み合わせたもの
 - 共通の回転軸が移動してもよい
- コレオグラフィック・ツイズル・ムーブメント:必須のセット・オブ・ツイズルを行った後に行われるツイズル動作で2つの部分からなるもの。
以下の要件を満たすこと:
 - 2つの部分とも:片足で、または両足で、またはこれらの組み合わせ
 - 最初の部分:同時に少なくとも続けて2回転し、かつ両パートナーは移動しなくてはならない(1箇所に留まらないこと)
 - 2つ目の部分:少なくとも一方のパートナーは少なくとも続けて2回転しなくてはならず、一方または両方のパートナーは一箇所に留まるかまたは移動するかまたはこれらの組み合わせでよい。

4.4 必須要素の要件

ステップ・シーケンスのスタイル:ステップ・シーケンスの難度レベルは以下のレベルの特徴により決定される。

- ノービス(ベーシック、アドバンス)のフリー・ダンス(イン・ホールドのストレート・ライン/カーブド・ステップ・シーケンス):スタイル B
- ジュニアのショート・ダンス(非接触ミッドライン/ダイアゴナル/サーキュラー・ステップ・シーケンス):スタイル A
- シニアのショート・ダンス(パーシャル・ステップ・シーケンス・イン・ホールド):スタイル B*
- ジュニアおよびシニアのフリー・ダンス(ストレート・ラインおよびカーブド・ステップ・シーケンス):
 - 最初に行われるステップ・シーケンス:スタイル A
 - 後に行われるステップ・シーケンス:スタイル B

スタイルAとスタイルBとスタイル B*のレベルの特徴は、継続的に有効な技術規程を更新する今後のコミュニケーションで発表される。

注:

スタイル B*は、このステップ・シーケンス(パーシャル・ステップ・シーケンス・イン・ホールド)の制限が、逆行やループが一切許されないという点でスタイル B と異なるということを意味する。

ステップ・シーケンスとパーシャル・ステップ・シーケンスにおける許されない要素：ストップ、パターンの逆走、ループは、ステップ・シーケンスとパーシャル・ステップ・シーケンスに含まれてはならないか、制限される。これらは以下のように許されない要素として特定される。

	パーシャル・ステップ・シーケンス(スタイル B*)	唯一の/最初のステップ・シーケンス(スタイル A)	2番目のステップ・シーケンス(スタイル B)
ストップ**	許されない (パーシャル・ステップ・シーケンスは必須のストップの直後から始まる)	許されない	許されない
パターンの逆走	許されない	許されない	2回目以降の逆走、または2小節の間より長い逆走
ループ	許されない	許されない	許されない
分離	許されない	許されない	シニアのフリー・ダンスでは許される – 両手間隔までかつ5秒以内

** 規程第 704 条で定義されているように、ダンス・スピンとピルエットはストップである。

必須要素は、必須のステップ・シーケンスの最中を除き、プログラム中のどこで行ってもよい。

日本語訳の改定履歴

- 2015 年 7 月 17 日 第 1 版作成
- 2015 年 8 月 3 日 第 2 版作成
- 3 ページ：ラベンスバーガー・ワルツ セクション 1 のステップ番号を訂正した。

Milan,
March 18, 2015
Lausanne,

Ottavio Cinquanta, President

Fredi Schmid, Director General